

## 誰も言わないから敢えて言う。大感染の責任は「医務技監」だ！（サンデー毎日）

<http://www.asyura2.com/20/senkyo278/msg/654.html>

投稿者 赤かぶ 日時 2021年1月24日 18:25:05: [igsppGRN/E9PO](#) [kNSCqYLU](#)

ツイート

いいね! 2

シェア

[泡洗顔はやめたら毛穴問題が一発解決！](#)

[ドロドロに溶けた3年分の角栓！気持ちイイくらい一掃された毛穴にSNS炎上](#)

[詳細を見る](#)

# 牧太郎の 青い空白い雲



連載 800

今回も中国の話だ。

昨年10月11日、中国山東省の青島市で新型コロナウイルスの無症状感染者が3人現れたと発表された。青島市は5日間で約1100万人の全市民のPCR検査を済ませた。この素早い対応でこの地域は「感染者ゼロ」に戻った。

無症状感染者を見つけ出し、自宅などに「隔離」するのがコロナ対策の肝だろう。PCR検査の回数を増やすのが（現時点では）唯一、有効なコロナ対策。中国は基本的に忠実だった。

日本はどうだろう？

新年早々の緊急事態宣言。各地で事実上「医療崩壊」が起こっている。

原因の一つは「未だにPCR検査が足りない」ことだ。中国と違い、政府は検査体制強化に一貫して消極的だった。

コロナ対策のトップ、初代「医務技監」鈴木康裕氏の言い分に異論がある。

「陽性と結果が出たからといって、本当に感染しているかを意味しない。ウイルスの死骸が残って、それに反応する場合もある。ウイルスを吸い込んでも陽性にならなかった人もいる。PCR検査は完全ではない」と言い続けた。

確かに「完全」ではないだろう。しかし、彼が指摘する「偽陽性」の頻度は低い。この分析は偏っていないか？

ここで「医務技監」というポストについて、説明しなければならぬ。



初代医務技監を務めた鈴木康裕氏

初代の鈴木氏は1984年に慶應大医学部卒、旧厚生省に入省した医系キャリア官僚。コロナ対策では、安倍前首相が棒読みする「資料」は全て鈴木氏が書いた（天皇、皇后両陛下に対する説明も鈴木氏が行った）。

ひょっとして「事務次官よりも強い権力を持つ存在」が、PCR検査は信用できない！と言ったことが混乱を起こしたのではないのか？

誰も言わないから、敢えて言う！ 大感染の責任は鈴木「医務技監」ではないのか？

昨年8月7日、鈴木氏は医務技監を退任。現在は厚労省顧問である。

一部には、治療薬候補「アピガソ」の承認などをめぐって首相官邸側と意見が分かれたから外された？というウワサもある。それはともかく、一人の思い込みで、国家が取るべき「道」を誤ったとしたら……。敢えて言う。コレは「医療独裁の悲劇」である。

誰も言わないから敢えて言う。大感染の責任は「医務技監」だ！

## 牧太郎の青い空白い雲 / 800

今回も中国の話だ。

昨年10月11日、中国山東省の青島市で新型コロナウイルスの無症状感染者が3人現れたと発表された。青島市は5日間で約1100万人の全市民のPCR検査を済ませた。この素早い対応でこの地域は「感染者ゼロ」に戻った。

無症状感染者を見つけ出し、自宅などに「隔離」するのがコロナ対策の肝だろう。PCR検査の回数を増やすのが（現時点では）唯一、有効なコロナ対策。中国は基本的に忠実だった。

日本はどうだろう？

新年早々の緊急事態宣言。各地で事実上「医療崩壊」が起こっている。

原因の一つは「未(いま)だにPCR検査が足りない」ことだ。中国と違い、政府は検査体制強化に一貫して消極的だった。

コロナ対策のトップ、初代「医務技監」鈴木康裕氏の言い分に異論がある。

「陽性と結果が出たからといって、本当に感染しているかを意味しない。ウイルスの死骸が残って、それに反応する場合もある。ウイルスを吸い込んで陽性にならなかった人もいる。PCR検査は完全ではない」

と言い続けた。

確かに「完全」ではないだろう。しかし、彼が指摘する「偽陽性」の頻度は低い。この分析は偏ってはいないか？

ここで「医務技監」というポストについて、説明しなければならない。

安倍政権は2017年6月（英国の「チーフ・メディカル・オフィサー」制度を念頭に）「政治状況に影響されず、保健医療分野の重要施策を一元的に推進し首相をサポートするポスト」を新設。わざわざ「事務次官級」と明記した。



初代の鈴木氏は1984年に慶應大医学部卒、旧厚生省に入省した医系キャリア官僚。コロナ対策では、安倍前首相が棒読みする「資料」は全て鈴木氏が書いた（天皇、皇后両陛下に対する説明も鈴木氏が行った）。

ひょっとして「事務次官よりも強い権力を持つ存在」が「PCR検査は信用できない！」と言ったことが混乱を起こしたのではないのか？

誰も言わないから、敢(あ)えて言う！ 大感染の責任は鈴木「医務技監」ではないのか？

昨年8月7日、鈴木氏は医務技監を退任。現在は厚労省顧問である。

一部には、治療薬候補「アビガン」の承認などをめぐって首相官邸側と意見が分かれたから外された？というウワサもある。それはともかく、一人の「思い込み」で、国家が取るべき「道」を誤ったとしたら……。敢えて言う。これは「医療独裁の悲劇」である。

			
		30,000円	66,000円
希少 当時物 昭和レトロ漫画雑誌【鉄人28...	NOVATEC D881SB-A15 32h 197g MTB...		
3,000円 <input type="button" value="チェック"/>	2,500円 <input type="button" value="チェック"/>	1,777円	500円